



見て、話して、繋がる

新作アニメーション 「Liminal lights」 上映 & トーク

図書館 × アニメーション？

「つくること」を仕事にしている人はどんなことを考えているのでしょうか。宮崎県出身の新進気鋭のアニメーター、福嶋颯汰さんをお招きして、様々なお話をうかがいます。また、今回のために、福嶋さんに制作してもらったアニメーションを上映。仕上がりをとお楽しみに。たくさんのご参加お待ちしております。

2025.8.9 土

14:00-15:30

会場 都城市立図書館 1階ホール

対象 どなたでも

定員 60名 (事前予約不要)

※満員の場合は立見できます。

参加費 無料

問い合わせ 都城市立図書館

(9:00~21:00)

電話：0986-22-0239

作品について



「Liminal lights」(1分)

宮崎の高校生との交流に着想を得て、作られたアニメーション作品。

「Liminal lights」とは、「揺蕩う光」(夜明けや夕暮れなど、境界の光)を意味する。

映像作家、アニメーター

福嶋颯汰さん



2001年生まれ。宮崎県出身。活動拠点は東京。クライアントワークの際は fusso (フッ素) 名義でも活動している。デジタル技法のアニメーションを用いてMV、CMなど映像媒体での出力を得意としている。クリエイティブハウス「mimoid.inc」に所属している。

【参加作品】

ChroNoiR『Ctrl Z』MV / サントリー WebCM『じゃあ東京帰るね by 東京クラブ』/ Crab 蟹 Club『バイラルハック』MV (TVアニメ『喧嘩独学』ED) 等



高彩度で独特な配色による「空気と湿度感」、民間伝承や土着文化を独自に解釈した舞台設定が持ち味。キーワードは異国情緒やノスタルジー。

福嶋さんのYoutubeチャンネルで、これまで参加された作品をご覧ください！

